

事業所名

重心児デイサービスHappyFace

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

10月

1日

法人（事業所）理念		一、思いやりの心と感謝の気持ちを忘れない。 一、何事にも興味を持ち行動する。 一、お客様と共に喜びを実感できる環境作りをする。						
支援方針		・安全第1に支援、送迎を行います。 ・児童の力を最大限引き出す支援を行います。 ・将来快適に楽しく過ごすために身体の機能を高める支援を行います。						
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	毎日の健康状態を報告、連絡、相談を密にし、職員に周知していきます。 学校のお迎え、ご自宅の送迎時などに、本児の体調や食事の摂取量、様子などを聞き取り、報告をします。重心児デイのため嘱託医に相談することが出来ます。毎日楽しく生活できるように支援していきます。						
	運動・感覚	絵本、触れ合い遊び、バランスボール、散歩、歩行練習、座位、体操、手作業、個人に合わせた運動を行っていきます。 アクティブな遊び、人との触れ合い遊び、絵本や手作りパネルシアターなど、いろいろな場面の中で視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚などの感覚を刺激します。身体移動、身体保持、補助的手段を活用して生活をより快適に楽しく支援していきます。基本となる姿勢維持や下肢、上肢の運動、関節の拘縮や変形予防、筋力の維持、強化を図ります。						
	認知・行動	次の2点を主に意識した支援を実施します。①児童にとって心地良いと感じる刺激を多く見つける中で、認知機能の発達を促し、それらの刺激を自らの意思表示により求められるようになることを目指します。②物を扱ったり言葉の練習をしたりする中で、物や色、数字等に対する認識・理解を深めていき、それらを日常生活で生かす為の基礎を築きます。						
	言語 コミュニケーション	絵カードや、喃語、単語などの発語、顔の動きなど、本児の段階に応じて対応していきます。発語が難しい児童は絵カード、顔全体の表情、目、口などの動きを見ながらコミュニケーションを行っていきます。発語がある児童に対しては、喃語、単語、絵カード、指さし、身振りなどで言葉の会話を楽しみ、生活の中で必要とする言葉を身につけ言葉のキャッチボールが出来るように支援していきます。 マンツーマン対応の為1人1人本児の気持ちを汲み取り、職員全体で周知し言語の基礎的能力の向上を促していきます。環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように、本児の様々な伝えたい気持ち、伝えたい行動などを理解すると共に、気持ちや情動の調整が出来るように支援していきます。						
	人間関係 社会性	買い物、外出、活動、散歩、地域との触れ合い、イベントなどに参加をしていきます。いろいろな人との関わり合いを通して、社会との関係性を大切にしながら勉強していきます。社会のルールや仲間づくり、他者との人間関係の形成、集団行動への参加、人との信頼関係の構築をしていきます。						
家族支援		ご家族の児童に対しての悩み児童の発達状況の相談援助や、支援の仕方、成長に合わせての個別課題の提供の仕方などの方法をお聞きし対応しています。保護者同士の交流会（運動会や夏祭り）なども開催しています。			移行支援		就労支援B、生活介護へ行きやすく生活しやすくなるように、職員の手作りの手作業を行っています。トイレ誘導歩行訓練や、クッキングでの混ぜる振るなど指先や手全体を使う訓練も行っています。 ハッピーマーケットではボールペンやキーホルダーを職員と一緒に手作りして販売しています。	
地域支援・地域連携		就労支援B型、福祉サービス事業所が経営する喫茶店におやつを食べに出掛けたり、児童達の手作りの物をバザーで出店したり、見守り隊の服を着て地域交流の為の散歩を実践しています。			職員の質の向上		Eラーニング研修実施、職員講習会などの参加も定期的に行っています。	
主な行事等		お宮参り、節分、バレンタインクッキング、卒業式、父の日、母の日のプレゼント作り、ひな祭り、夏祭り、七夕祭り、水遊び、ハロウィンパーティー、クリスマス会、春休み、夏休み、冬休みなどの長期休みなどは、水族館、動物園、視聴覚センター、プラネタリウム、体育館などに外出しています。						